

## 薬剤部 DI ニュース

## ★患者さんが糖尿病の薬を飲み忘れた場合

経口糖尿病薬を飲み忘れた(1回抜いてしまった)場合の次の服用量は、必ず1回分の量を服用します。(2回分の量を一度に服用すると低血糖をおこす危険性が考えられます。)  
飲み忘れた場合の対応例を紹介しますが、薬剤や患者さんの病態によって対応が異なります。

分類	薬剤名	用法	主な作用・薬効	飲み忘れた場合の対応例など
スルホニル 尿素薬 (SU薬)	アマリール グリミクロン ダオニール	食前又は食後 (1日1～2回)	膵臓に持続的に作用してインスリン分泌を促進。 空腹時血糖の抑制。	☆忘れた分は服用しない。 ◎食後30分以内であれば服用。 それ以上の場合は服用しない。
ビグアナイド 薬(BG薬)	メデット	食後 (1日2～3回)	肝臓での糖の放出や腸管からの糖の吸収を抑制。筋肉細胞等の糖利用を促進。 空腹時血糖の抑制。	☆忘れた分は服用しない。但し夜寝る前に気付いた時は、服用してもかまわない。
速効性 インスリン 分泌促進薬	ファスティック	食直前 (1日3回)	膵臓に短時間に作用してインスリン分泌を促進。 食後高血糖を抑制。	食事を始めた後に気付いた時は服用しない。 (食後では速やかな吸収が得られず効果が減弱する。また食前30分服用では、食事開始時に低血糖をおこす可能性がある。)
$\alpha$ -グルコシ ダーゼ 阻害薬	グルコバイ ベイスン	食直前 (1日3回)	腸での糖質の消化吸収を遅らせる。 食後高血糖を抑制。	☆グルコバイ: 食事中に気付いた時はすぐに服用。食後に気付いた時は服用しない。 ☆ベイスン: 食直前に忘れた時は食事中に服用。空腹時に服用しても効果はない。
インスリン 抵抗性 改善薬	アクトス	朝食前又は 朝食後 (1日1回)	インスリンの抵抗性を改善。(インスリンの効きをよくする)	☆アクトス: 昼までに飲み忘れに気付いた場合はすぐに服用。 (半減期が長く、昼以降の服用では翌日の朝食と重なり作用が増強する。)